

東日本大震災・原子力災害伝承館 館内語り部講話スケジュール

| 4月 | 午前 ①10:00～ ②11:15～ | 午後 ③13:15～ ④14:30～ |
|------|---|---|
| 1 水 | あの日から13年間の久之浜町 そしてこれからは… (いわき市) | 東日本大震災原発事故により避難した体験をダンボールアートを通して語り伝える (富岡町) |
| 2 木 | 福島第一原発事故における病院避難について (東京都※本人の被災体験ではなく聞き取りした内容です) | 長い避難生活を支えた励ましの数々 (富岡町) |
| 3 金 | 震災経験とその後の活動 (南相馬市) | 原発事故の後で学校・子どもたちに起きたこと (南相馬市) |
| 4 土 | 臨時休館 (4/4～4/6) | |
| 5 日 | | |
| 6 月 | | |
| 7 火 | 休 館 日 | |
| 8 水 | 震災発生から全町避難を振り返って (富岡町) | あの日を忘れない～私の震災の記憶と教訓～「あの時」と思うこと (南相馬市) |
| 9 木 | 『残照』～震災の記憶～ (相馬市) | 震災経験とその後の活動 (南相馬市) |
| 10 金 | あの日の震災から学んだこと (富岡町) | 役場職員 震災直後の7日間 (浪江町) |
| 11 土 | 震災・避難・現在の歩み (富岡町) | 原発から25キロに住む1人として (南相馬市) |
| 12 日 | 生きのびるために (双葉町) | 自分の命を守る (いわき市) |
| 13 月 | 伝統文化存続の危機と伝承 (双葉町) | 震災当日の行動と教訓及び復興事業について (いわき市) |
| 14 火 | 休 館 日 | |
| 15 水 | 東日本大震災から考える防災と社会課題 (大熊町) | 「当たり前」はない (大熊町) |
| 16 木 | 原発事故の後で学校・子どもたちに起きたこと (南相馬市) | あの日を忘れない～私の震災の記憶と教訓～「あの時」と思うこと (南相馬市) |
| 17 金 | 10:00～ 震災後の2日間とその後 (大熊町) 11:15～ 震災・原発事故から復興へ (大熊町) | 13:15～ 震災後の2日間とその後 (大熊町) 14:30～ 震災・原発事故から復興へ (大熊町) |
| 18 土 | 変わりゆくふるさと それでも前を向いて(双葉町) | 当時11歳にとっての東日本大震災 (富岡町) |
| 19 日 | 震災・原発事故を語る (双葉町) | 東日本大震災 娘との日々 (富岡町) |
| 20 月 | 私の震災体験とそれから「仙台港での大津波、多賀城の職場、相馬の実家、そして大切な家族」 (相馬市) | 双葉の子どもたち (双葉町) |
| 21 火 | 休 館 日 | |
| 22 水 | 置き去りにされた動物 (浪江町) | 震災経験とその後の活動 (南相馬市) |
| 23 木 | 東日本大震災と避難生活の実態 (浪江町) | 紙芝居で伝えたいこと (浪江町) |
| 24 金 | 防災意識を高めよう。みんなと、自分を！ (南相馬市) | 役場職員 震災直後の7日間 (浪江町) |
| 25 土 | 原発から25キロに住む1人として (南相馬市) | 当時11歳にとっての東日本大震災 (富岡町) |
| 26 日 | 紙芝居『菜の花物語』 (南相馬市) | 自分の命を守る (いわき市) |
| 27 月 | 伝統文化存続の危機と伝承 (双葉町) | 震災当日の行動と教訓及び復興事業について (いわき市) |
| 28 火 | 休 館 日 | |
| 29 水 | 『残照』～震災の記憶～ (相馬市) | 生きのびるために (双葉町) |
| 30 木 | 震災・原発事故を語る (双葉町) | 震災と私 ～その時、私の周りで起きたこと～ (双葉町) |

※タイトル横の () 内は語り部の震災当時の居住地です。

※スケジュールは2026/3/26現在のものです。

やむを得ない事情により、変更・中止、講話映像の上映となることがあります。